

特定非営利活動法人 太陽と緑の会

かわら版

2004 12 NO 108

もくじ

表紙の絵 工藤卓也／巻頭コラム
杉浦 良／お知らせと出来こと
協力者名簿／メンバースタッフ投
稿コーナー／編集後記
ボランティアさん募集

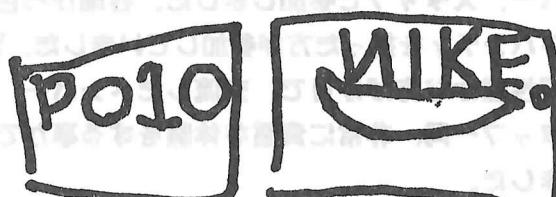
巻頭コラム（杉浦 良）

気が付けば早、師走です。平成16年、2004年も、もう終わろうとしています。戦争あり、台風あり、地震ありの今年ですが、このまま無事に日々が過ごせるようにと、祈るばかりです。今年の6月から、地元の徳島新聞夕刊コラムに月2回の割合で、駄文を書く機会を頂戴しました。締め切り前になると、上手く書けない自分の能力の無さを嘆いて鬱（うつ）に、書けたら開放感で躁（そう）にと、周りのみなさんに迷惑をかけながらの日々を過ごしています。その中から一つ紹介させていただきたいと思います。

「ドクサからの解放」（2004年11月26日徳島新聞夕刊掲載）

成田真由美さんが水泳で三回パラリンピックに出場し、十五個の金メダルを獲得したというニュースが話題になりました。車椅子を利用する成田さんが、上半身のみでダイナミックに泳ぐ姿が印象的でしたが、それを支える福本寿夫コーチの「どこのスイミングスクールに行っても断られた成田さんを、取りあえず可能なら受け入れてみようと思った」という言葉が心に残りました。福元さんは中学校では水泳選手として、高校から自分の限界を感じ水球に転向されたそうですが、医者から泳ぐことを禁止されながらも薬を片手に泳ぎ続けた成田さんを、山のようなリスクを背負いながら敢えて受け入れる決断を下したその奥を、のぞいて見たいと思い

ました。先日第五十九回県美術展で七年ぶり二度目の特別賞を受賞した丸居哲雄さんは、木片の寄せ張りで、顔や手足にアザのある阿波踊りの踊り子を描き出し栄誉を獲得しました。車いすに座りまひの残る右手もうまく使いながら、三十六歳から十七年間寄せ張りを出品し続けておられます。「アザのある人」と題し「人間が抱える息苦しさや人生の重さをにじみ出させたい。阿波踊りは華やかですが、人生の重荷を背負いながら踊っているんじゃないかな」と語る彼の人生哲学ものぞいてみたくなりました。この前、やまびこコンサートの実行委員を長年務めている米田太さんが自作の詩を朗読したCD「翔元」を製作しました。「作業所の仲間が疲れきっていた三月、どうにか仲間を元気付けようと考えた。自分のできる範囲のことをやってみ



あせわります
工藤

ようと思い、元気のない人にも聴いてほしい！」そう語る脳性まひで言語障害を持つ彼らとともに、小松島中学校の先生と生徒たちからCDの感想が寄せられました。「じわーっと暖かい気持ちが戻ってきて感動した。落ち込んでいるときに励みになると思う。」その感想文の束を差し出す米田さんの横顔に威厳すら感じさせられました。ソクラテスは「ドクサ（今までそう信じてきた事、常識）からの解放」こそ哲学の根本だと言われたそうですが、様々なハンディーを持った方々から、改めてそう感じさせられた瞬間です。

ここに書いた米田太さんの朗読CD「翔元」と、詩集「心実」の第2版制作を当作業所の作業として取り組むことができたのは、やまびこコンサート実行委員会の本田さんや吉田さんのお陰です。本当に有難う御座いました。また次の詩集「元太」も作業所の作業として制作できました。リユース製品や農作物以外に朗読CDと詩集の販売が加わりました。新たな可能性の芽生えです。詩集は各200円、CDは300円で販売中です。

月の宮日誌

9月はアスティ徳島で開かれた福祉展に、メンバー、スタッフで参加しました。各地から色々なハンディーを持った方が参加していました。皆、個性豊かな方ばかりで、交流したメンバー、スタッフ一同、非常に貴重な体験をする事ができました。

10月は台風の直撃で大きな被害を受けました。冬野菜の種蒔きを終え、芽が2、3cm程に成長していましたが、何百個か蒔いた3分の1は雨で流されてしまいました。鶏小屋にも水が入り鶏が3羽死んでしまいました。本当に悔しい思いをしましたが、また新しく種を蒔き、苗を植え、鶏小屋に水が入らないよう補強しました。今では種から芽が出て、苗も大きく育ち、

鶏たちも小屋の中を元気に走り回っています。

月の宮の野菜だより

月の宮の畑では、チンゲン菜、みず菜、大根などが収穫時期を向かえ、キャベツ、レタスなどがすくすくと成長しています。

椎茸小屋ではボランティアの柳田さんより、頂いた菌床から肉厚の椎茸が摘れています。

文 福家

月の宮作業所とは

場所は徳島市入田町にあり、身体障害、知的障害、精神障害など様々なハンディーを持つメンバーが自宅、援護施設、病院、共同生活棟などから通っている作業所です。農作業、自然養鶏、自転車リサイクル、昼食作り等を通じてその人なりの可能性を模索しています。一般市民の方の出入りが多い国府のリサイクル作業所では「活き場所」を見出しにくいメンバーや、導入・またはリハビリ段階にあるメンバーのために、山に囲まれた豊かな自然の中で、じっくり落ち着いて作業に取り組める場所として活動しています。

活動時間 10時~16時

活動日 週5日(日曜日と水曜日は休み)

1日の流れ

9時 国府のリサイクル作業所から月の宮作業所まで車で送迎。月の宮作業所に直接行くメンバーは9時30分に月の宮作業所に集合。

9時30分 朝ミーティング 食事作り準備
10時 作業開始 12時 昼食、休憩
13時 作業開始 16時 終了 車でリサイクル作業所等へ送迎

太陽と緑の会 月の宮作業所
徳島市入田町月の宮227-39
TEL・FAX088-644-0171

お知らせと出来こと

青年長期ボランティア研修

9月14日～17日 当会で平成16年度青年長期ボランティアとして活動中の吉川君が、東京で開催された青年長期ボランティア中間ミーティングに参加。

吉川君は現在、衣料品、回収品の仕分け、資源ごみ等の積み込みの作業を中心に活動中です。本人の希望もあって、月の宮作業所における無農薬農業にも関わるようになりました。活動も後半に入りましたが、いろいろなメンバーと関わりを持ちながら、作業の幅を広げていって頂ければ、と思います。

一條さん活動終了

今年の6月17日からアルバイトとして当会で活動してきた一條さん（35才・徳島県出身）が、9月26日付で活動を終了しました。今後は国際協力関係の団体で活動する予定になっています。一條さんは、月の宮作業所において、様々なハンディを持ったメンバーと農作業などに取り組んでくれました。ありがとうございました。

ウガンダからの研修生、活動開始

10月17日、ウガンダからの研修生キラングワ・アロイジャス・ディセントさん（28才）が、太陽と緑の会での研修活動を開始しました。

アロイジャスさんはアフリカのウガンダで貧しい子供たちのための職業訓練校を主宰しており、徳島県が今年度から取り組む「国際協力県民パートナーシップ事業」の研修生として10月7日に来日、徳島県海外青年協力隊を育てる会が受け入れ団体となり、来年3月までの半年間、研修活動を行います。

10月～11月は午前中、TOPIA（徳島国際交流協会）で日本語の勉強をし、午後は太陽と緑の会で不用品の回収を中心に活動、日曜日及び研修、イベント等があるときは休み、という予定になっています。12月以降の詳細は未定ですが、日本語の修得が進み次第、太陽と緑の会での活動のウェイトを高めていくことになっています。コーディネーターとして、海外青年協力隊OGの松村さんがサポートして下さっています。

様々なハンディを持ったメンバーとアフリカの青年とスタッフ、という3人組がトラックに乗って一般市民の家庭を回り不用品の回収をするという光景は、それだけでも意味のあることではないかと思います。

宿泊研修

11月3日～4日、太陽と緑の会のハンディを持ったメンバー、スタッフ、ボランティア、計38名が参加し、秋の研修旅行を行いました。今回は地元のボランティアの方が8名も参加した他、ウガンダからの研修生のアロイジャスさん、コーディネーターの松村さんも参加し、とてもにぎやかな顔ぶれとなりました。この研修事業は、徳島県福祉基金から21万円の助成を受け、これに自己資金を合わせて

行ったものです。今年は香川県の塩江温泉に行きました。徳島県外へ行くのは作業所始まって以来初めてのことです。

朝 10 時に宿泊先の送迎バスに乗ってリサイクル作業所を出発。途中トイレ休憩を 1 回はさみ、12 時に塩江温泉樺川荘本館に到着。部屋割りの後、昼食をとり、自由時間となりました。お風呂に入る人、付近を散策する人、お土産の品定めをする人、ロビーで将棋に熱中する人など、それぞれが思い思いに過ごしました。

理事と事務局長は午後 4 時から 6 時まで会議室に集まって理事会を行い、当会の現状と課題、及び今後の方向性についての検討を行いました。

午後 6 時より夕食。食事の後はメンバーお待ちかねのカラオケタイムとなりました。アロイジャスさんのアフリカンドラム演奏、アフリカのダンスなどもあり、なごやかなひとときとなりました。

翌 4 日、朝食後、朝 10 時に旅館を出発、送迎バスで高松空港に隣接する科学体験施設「さぬきこどもの国」に到着。ここで 1 時間半、パソコンによるクイズ、空中サイクリングやフライトのバーチャル体験、YS-11 型飛行機の展示、サイクリングなど、それぞれが楽しみました。

お昼は名物さぬきうどんを食べ、午後 3 時にリサイクル到着。解散となりました。今回は空室の関係で 2 人部屋、3 人部屋が多かったのですが、「落ち着いて過ごせる」「ゆっくり寝られる」とメンバーには好評でした。予算不足の中、宿泊先の旅館の方にはとてもリーズナブルな料金にして頂き、大変助かりました。

人権学習ふれあいフェスティバル

11 月 24 日 人権学習ふれあいフェスティバルが開催(主催 障害者地域共同作業所ほっとハウス協力 徳島県障害者地域共同作業所連絡協議会、加茂南小学校)。当会からはスタッフ 4 名、メンバーの米田君、田村君、大木君が参加。20 才を迎えるメンバーのための成人式が行われ、田村君もその一人として参加。メンバーが壇上で仕事のこと、将来のこと、今までのことなど、自由に話すトークタイムも大変好評でした。

徳島市地域新エネルギービジョン策定委員会

徳島市地域新エネルギービジョンの策定を目的とし、学識経験者、地場産業関係者、エネルギー供給関係者、一般市民等、15 名の委員と 2 名のオブザーバーから成る、同策定委員会がスタートしました。当会代表の杉浦が委員の一人として参加することになりました。

以下

8 月 31 日 第 1 回会議 於 ホテル千秋閣(徳島市)

9 月 15 日 新エネルギー街角ウォッチ 太陽と緑の会のソーラーシステム(5.14 キロワット 36 枚パネルの太陽光発電及び太陽熱温水器)、徳島市庁舎太陽光発電システムなどの見学

9 月 27 日 第 2 回会議 於 徳島市役所

人権フェスティバル

10 月 16 日～17 日、平成 16 年度人権フェスティバルが開催(主催 徳島県 徳島県教育委員会他)当会もパネル展示による参加を行いました。

太陽と緑の会の活動を支えて下さっている皆様

§ 2004年9月18日～2004年11月20日 § (紙面の都合上、敬称は省略させていただきます)

不用品を持ち込んで下さった方々

○徳島市〇遠藤、竹元、丸山、富田、金山、藤吉、井上、松尾、大藤、藤吉、上原、楠本、金沢、三木、富野、中西、川添、奥田、佐々木、松本、大久保、加藤、岸、谷川、山本、大岡、榎本、上原、三木田、先山、藤岡、佐藤、大内、助岡、武内、福田、田崎、山口、嵯峨、喜多、滝山、野々瀬、横関、バーバラ・エイキンズ、米津、新居、住友、平尾、住友、泊、岸野、逢坂、山本、総和建設、前田、佐々木、佐野、田村、石原、明井、井上、田口、東、濱田、佐藤、井上、林、後藤、四宮、柏木久保、山本新田、山花、吉田、陽地、森本、谷口、小田和、岡田、アハマドシタクワウディン、岩佐、林、井内、滝山、早雲、浦島、蔭山、杉井、姫野、山下、桑原、佐々木、中西、坂東、藤永、RAHMAN MD. MUSTAFIFUR、吉川、近久、安藤、飯田、板東、吉田、田中、中西、米沢カタリーナ、渡辺、安芸、川上、津田、多田、金沢、重高、尾方、多田、高木、河野、玉井、上山、井内、原、鈴木、喜多、上野、笠井、小瀬、板東、吉野川シンポジウム、長浜、漆原、近藤、秋山、荒木、山下、山城、金沢、船越、久米、小山、小浜、清水、美馬、郡、栗坂、川端、荒木、友成、佐々木、前田、久次米、坂東、武田、秋田、福井、北井、笠井、松野、笠井、濱田、遠藤、川崎、板東、斎藤、森崎、谷、須磨、竹内、堀江、笹田、団、蔭山、松浦、斎藤、山田、清水、伊藤、橋本、堀、日下、松尾、梶原、喜志、井野、鎌田、藤永、正本、中川、竹中、福田、助岡、小柴、佐川、元木、斎藤、榎本、川口、玉置、佐藤、元木、坂東、福澤、三木、溝杭、福家、武田、梶原、助岡、多田、片山、平尻、一宮、粟谷、佐賀、児嶋、佐藤、坂東、新居、Bonnes Robert、井沢、柏木、上原、松倉、森川、浦島、藤岡、安定、上原、豊田、長崎、伊藤、杉本、黒川、梶井、山口、知賀、平尾、宮地、後藤、日野、大村、長谷部、森本、片岡、佐藤、豊永、上原、高木、葉坂、大寺、川西、小田、江渕、池村、川端、宮西、犬伏、岩丸、高木、四国大学付属幼稚園、鈴木、横田、高井、松浦、浦島、福島、原、ジャリリアリ、竹本、間宮、多田、小田和、手塚、野瀬、細東、眞鍋、三木、三木、(有)あさぎり、芝井、内藤、樋田、鬼頭、松浦、久米川、川端、森、ラマプラント、すきっぷ、久次米、丸山、木下、犬伏、陽地、中村、中口、薮原、(有)アトム保険企画、奥野、佐藤、山城、竹内、蔭、梶原、佐藤、馬躍、酒井、藤村、大野、多田、麻植、カタリーナ米沢、春森、松田、後藤、細川、鈴木、浅田、中川、中野、藤岡、小栗、藤守、柿原、杉原、石井、長尾、藤原、大内、三浦、福島、宮本、蔭山、長尾、森、井上、住友、梶原、竹本、森影、西山、水間、森吉、山下、福永、川口、柳沢、四電エンジニアリング、市川、米田、高橋、谷、都、多田、福原、(有)あさぎり、平尾、佐々木、照本、浦島、陽地、玉置、玉井、藤並、茂美、山口、笠谷、陽地、小田和、豊崎医院、鈴江、田村、伊藤、茂美、殿井、竹中、林、大塙、岡田、矢部、川風、松浦、北井、川口、東村、尾方、熊谷、陽地、富永、山本、鈴木、馬場、久米、宮地、久保田、近藤、村上、矢部、大久保、吉田、山本、八万小学校、蔵本、山城、高木、杉本、三好、藤岡、山田、梶原、竹本、森影、西山、水間、森吉、山下、福永、川口、柳沢、四電エンジニアリング、市川、米田、高橋、谷、都、多田〇藍住町〇土井、大西、岸、佐野、石川、井内、松下、浜、井上、吉田、水井、藤原、高田、岡久〇阿波町〇向川、林、割石、田浦、割石〇鴨島町〇迎、大塚、新居、吉田、古川、片岡、竹内、福田、立花、青木、迎、匿名、福田、大塚、〇小松島市〇豊栖、野口、宮田、田中、中島、下山、植田、小川〇北島町〇吉田、三木、岩木、中川〇松茂町〇エレイン・アファナドル、松浦、大西〇板野町〇沖津、新田、佐野、藤原、布川、豊田、手塚、吉兼〇上板町〇中柳、安井、杉本、高橋、Dコム、濱添、仮本、ユートピア八幡商店、新田、岡本、大島、一宮射撃場、大島〇吉野町〇武岡〇石井町〇辻、大谷、柏谷、木下、近藤、森下、岡、香川、川田、中原、大塚、近藤、武内、田村、秋山、井上、竹内、山西、吉岡、松永、香川、白木、渡辺、伊勢、岡、中木、秋本、森山、渡辺、北島、井上、森〇神山町〇粟飯原、天野、森本〇鳴門市〇中筋、山西、湯水、川村、鈴木、木下、辻、NPO法人「ふくろうの森」、JT 徳島工場〇阿南市〇篠野、佐野、橋本、一宮、保田、森、播岡、藤原、石本〇川島町〇竹内、笹本〇山川町〇井内、黒崎〇那賀川町〇伊藤〇佐那河内村〇小河〇三郷村〇加本〇三郷村〇加本〇愛媛県〇菅原、浜田〇埼玉県〇本田〇東京都〇樋原、梶原〇奈良県〇出口〇神奈川県〇山本〇京都府〇渡辺〇香川県〇大西

不用品を回収させて頂いた方々

○徳島市〇増田、粟飯原、北岡、尾崎、山口、渋谷、久米川、美馬、吉田、美馬、倉田、堀、梅田、原谷、磯崎、安井、杉本、高橋、Dコム、濱添、仮本、ユートピア八幡商店、新田、岡本、大島、一宮射撃場、大島、花田、多田、高橋、山市、徳島聖徒教会、橋本工業、中西、原、村田、林、鈴江、辻、高橋、志摩、宮城、森川、久保、仁木、四宮、中本、富松、加納、地紙、山口、中山、河野、高橋、後藤、杉原、中村、浦島、泉、井上、和田、宮本、さくらぎ商店、秋田、渡部、元木、川野、森、福田、岡本、大久保、藤崎、ともゆき、矢野、Dコム、ミスグラント、前田、大津、堀江、熊田、菊石、岡山、八田、原田、山田、北島、

寄付して下さった方々

○徳島市○元木 ￥1000、匿名 ￥1000、中西 ￥2000、小原 ￥2000、三好 ￥500、板東 ￥10000
○鳴門市○米田 ￥3000、乾 ￥20000○松茂町○森本 ￥50000○京都府○都出 ￥3000

不用品を持って来て下さった方には、持ち込みカードへの記入をお願いし、当会の機関紙をお渡ししていまして、ここで紹介させて頂いているお名前は、そのカードに基づいてます。しかし中には「名前は結構です」と言われて置いて行かれた方、何度も整理しては持つて来てくれた方も多く、実際の不用品の引取件数は、ここで紹介させて頂いた人数の3倍くらいあります。また徳島県外から持つて来て下さった方、「捨てるにはしのびないから」とわざわざ郵送で送つて下さった方もおられました。なお、厳重にチェックしてますが、万が一お名前の書きもれ、書き間違いなどございましたら、ご遠慮なくご一報頂ければ幸いです。

NPO法人太陽と緑の会の活動は、一般市民の方のご支援、ご協力によって支えられています。本当にありがとうございました。今後ともよろしくお願いします。

メンバースタッフ投稿

あれびと

たまがいふれり、え足

あれ、これか

あれびと

新しい、テーに向、こスヌ

あれびと

のスナートに白、こ

あれびと

この青、れにこお

あれびと

すなれに青、しなこ

あれびと

びも、ふ足、けりたこ、ひが

あれびと

じかく出され、よ

あれびと
青のあれ、やなく

トヨタセリカ



絵 藤田喜彦

はじめまして

今年の6月より太陽と緑の会の活動に参加することになった今倉弘二です。これといった特技はありませんが、趣味は美味しい物を食べに行くことやペーパーナイフを集める事です。後のペーパーナイフを集めるという趣味ですが、今まで同じ趣味を持った人に違った事はなく、どうやら変わった趣味みたいです。僕がここに来てから、後約半月で半年になります。主な作業内容は2tトラックに乗っての回収作業や家具倉庫2F(売り場ではありません、作業場です。)での衣類作業やレジでの作業です。回収作業では一般家庭などに不用品の回収に行きます。徳島市を中心にいろんな所に回収に行くので地名や地理に詳しくなりますし、大型家具の積み降ろしなど勉強させられる事もよくあります。また回収作業の過程の中で何年も違つていなかつた中学時代の同級生とバッタリ再会するという驚く出来事もあつたりします。衣類作業では回収や持ち込みで入った衣類がどういう流れで売場(本館2F・家具倉庫1F)に出されているのか処分されているのか分かり面白くもあり考え方される所もあります。また全く関心がなかったブランド物やメーカー物も衣類作業をすることによってほんの少しずつですが覚えていっています。レジでの作業では物に関する価値や使い方をお客様に教わったりする事もありますし、物に関する知識が無い為にお客様の説明についていけず頭の上が「??」になる事もあります。とまあ「半人前」にもまだまだ程遠い僕ですが、これからも日々頑張って行きたいと思います。

文 今倉 弘二

編集後記

君が主役だ！

太陽と緑の会（以下当会）は、一般市民にはほぼ浸透している不用品のリサイクル活動の他、環境問題取り組み、青少年育成事業、無農薬農業、海外支援活動など色々な分野で、社会貢献活動に参加しています。一般市民の方から見れば、逆にあの団体は「一体、なんだ？」と全体像が掴めず、首を傾げられる人も少なくないはずです。（余談ですが理由は分からぬけど？？よく宗教団体に間違われることも多々ありますが、決してそんなことはありませんので！くれぐれもお間違えなく。）

当会は色々な分野でこそ活動していますが、他の団体と大きく違うものが一つあります。専門性の強い他の機関だったら「それなりの専門知識、経験を培った職員が中心になり」色々な諸活動を行っているのが現状だと思います。しかし、当会は専任職員（スタッフ）こそいるものの、実際現場でメインの活動をしているのは、当会ではメンバーと呼ばれている、知的障害、精神障害、身体障害などのなんらかのハンディを持った彼ら、彼らです。

よく外部の人に「彼ら、彼女らのどこにハンディがあるの？」（まあ、これは冗談ですが、人相の悪い数名のメンバーについては「実は顔が悪いんです！」と説明する場合もありますけど！）と聞かれることもよくある位、彼ら彼女らはハンディを乗り越えよく頑張っています。ただ、どうしてもメンバーのキャバを超えた部分については、スタッフがフォローに入ります。それでもあくまでも主役はメンバーです。例えて言えば芸能界にM娘というグループがありますが、主役はメンバーでスタッフは裏方でしょう。

人も物も街も活かされることをテーマとしながら、当会はこれからもメンバー、スタッフ、ボランティアが日々協力し、手を取り合いながら、社会と共に歩いていきます。

文 白石

ボランティアさん募集

国府リサイクル作業所、月の宮作業所では「人も物も活かされる街づくり」をテーマに、地域の人とのふれあいを大切にしたいということで、日常活動に参加してもらえるボランティアさんを募集しています。年齢は高校生以上の方で、活動内容は障害者地域福祉、環境問題、不用品のリサイクル、無農薬農業、自転車リユースなど色々あります。「これだったら、私も興味があると思われる人は、お気軽に問い合わせ下さい。」

リサイクル作業所 088-642-1054 担当 三木、木村

月の宮作業所 088-644-0171 担当 白石、福家

特定非営利活動法人 太陽と緑の会

私たちは生態系のリサイクルを含めたリサイクル・リユース活動を、様々なハンディーを持ったメンバー達の障害者地域共同作業所（2箇所）とリンクさせて、行っております。地域の中で「人も物も活かされる街作り」をテーマに、ハンディーのあるなしにかかわらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指して、様々な方々（一般市民、ボランティア、行政）の支えを頂きながら、年間300日、土、日、祭日を含めた、日常活動を行っております。

発行：特定非営利活動法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島県徳島市国府町南岩延字小原

107-1

TEL 088-643-1054

（事務局）

088-642-1054

（リサイクル作業所）

FAX 088-642-1054

URL <http://www2.ocn.ne.jp/~t-midori/index.htm>

代表理事 杉浦 良 編集 白石 隆信

編集サポート 木村 有理子

年会費：正会員 10,000 円

準会員 1000 円

郵便振替口座：01620-8-44703

※この機関誌は再生紙を使用しています。